

浜松城下町の文化財をさぐる



特別見学会

10:00 ~ 12:00

【集合】浜松城公園本丸南広場

J R浜松駅北口から遠鉄バス「市役所南」徒歩1分、浜松市役所西側

浜松城周辺の文化財を専門家の解説を聞きながら巡ります。

- ・浜松城本丸南
- ・元城町東照宮 (引間城跡)
- ・浜松城霜垂口跡
- ・遠江分器稻荷神社 など

天守閣および大河ドラマ館の入場見学はありません。

【参加】要申込み 抽選40名 参加費無料

■ オプションランチ 要申込み 限定40食 税込1,300円

- ・遠州名物の食材を用いたお弁当 (お茶付き) を御用意します。
- ・お弁当は特別見学会の終了後に浜松城公園本丸南広場にてお渡しします。

参加申込み 10月27日 (金) までに FAX かメールで①~⑥を送付

- ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④特別見学会参加希望
- ⑤オプションランチの希望 ⑥講演会参加希望

10月31日 (火) 抽選、抽選結果を11月2日 (木) までに連絡します。

講演会

14:00 ~ 16:30

【会場】浜松市地域情報センター ホール

J R浜松駅から徒歩約10分、浜松市中区中央一丁目12番7号 (駐車場なし)

「浜松城下町の立地とカタチ
~地図からみた東海道の城下町~」

京都大学教授 山村 亜希氏

「浜松城と城下町の発掘調査」

浜松市市民部文化財課 和田達也氏

【参加】要申込み 抽選120名 参加費無料

静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化財課

【申込み先】 FAX 054-250-2784 Eメール bunkazai@pref.shizuoka.lg.jp

【問い合わせ】 電話 054-221-2554

【詳しくは】 静岡県文化財課ホームページで「ふじのくに文化財オートムフェア」へ

主催 静岡県、浜松市、静岡県文化財保存協会



ホームページ

浜松城下町の文化財をさぐる

令和5年 11月12日 日曜日

貴重な文化財にふれて、学んで、ふじのくにの歴史文化をたのしもう!!

特別見学会

10:00 ~ 12:00

浜松城公園本丸南広場【集合】

はままつじょう

浜松城周辺の城跡と城下町に関連する文化財を、専門家の解説を聞きながら巡ります。

要申込み

定員 40 名
参加費無料

■ 浜松城跡

浜松城跡は、現在の^{てんしゅかく}天守閣の周囲にも城郭の遺構が残存していることが発掘調査などで判明しており、浜松城公園本丸南広場でその成果を解説します。城域は浜松城公園の外にも広がっており、^{もとしろちやうとうしやうぐう}元城町東照宮のある引間城跡や道路が屈曲している^{しもたれぐち}霜垂口跡などを地形の痕跡を確認しながら巡ります。

■ 浜松城下町の文化財

城下町は現在市街地になっていますが、^{いせき}地中には遺跡があり、また、道筋や地割、地名などに^{こんせき}痕跡を確認することができます。引間宿^{とのおとうみぶん き いなりじんじや}推定地の南端には、遠江分器稲荷神社があります。戦国時代の永禄11年(1568)の創建と伝えられ、^{けいちやう}慶長9年(1604)には徳川家康が本殿の修造を命じ、その後の徳川将軍や浜松城主からも崇敬を受けました。

■ オプションランチ

特別見学会の後、浜松城公園本丸南広場にて、遠州名物の食材を用いたお弁当(お茶付き)を用意します。

要申込み

限定 40 食
有料 税込
1,300 円

■ 浜松城天守・大河ドラマ館の案内

天守閣は17時まで、大河ドラマ館は18時(入場30分前)まで有料で見学できます。大河ドラマ館の隣りでは、発掘された石垣の現物が無料で見学できます。

講演会

14:00 ~ 16:30

浜松市地域情報センター ホール

浜松城と城下町について、歴史地理学と考古学の調査研究の成果を専門家に伺います。

要申込み

定員 120 名
参加費無料やまむら あき
山村 亜希

広島県生まれ。京都大学文学部卒業、同大学院文学研究科博士課程修了。京都大学博士(文学)。愛知県立大学准教授を経て、現在は京都大学教授。専門は歴史地理学。東海地方を含めて全国の城下町・港町の成り立ちや特徴を、文献・古地図や現地調査をもとに研究。著書は『中世都市の空間構造』(吉川弘文館、2009年)。NHKの「プラタモリ」では、名古屋・熱田編や駿府城下町編などの案内役として出演。浜松市では史跡二俣城跡及び鳥羽山城跡保存活用検討会委員をつとめる。

わだ たつや
和田 達也

浜松市生まれ。浜松市市民部文化財課。浜松城跡や浜松城下町遺跡をはじめ、浜松市の遺跡を中心に調査研究を進めている。

■ スケジュール

- 13:30 開場、受付開始
- 14:00 開会挨拶
- 14:10 山村亜希氏「浜松城下町の立地とかたち」
- 15:40 休憩 ~地図からみた東海道の城下町~
- 15:50 和田達也氏「浜松城と城下町の発掘調査」
- 16:20 質疑応答
- 16:30 閉会

- 参加申込みの方法はチラシの表面を御覧ください。
- 特別見学会・講演会ともに専用の駐車場はありません。公共交通機関でのお越しをおすすめします。
- 荒天などにより、内容変更や中止をする場合があります。その際は、参加者の皆様へお知らせします。

浜松城と城下町の歴史の概要

浜松城は、^{げんき}元亀元年(1570)に入城した徳川家康により引間城から改称され、^{かきじやう}拡充されました。その後、豊臣家臣である堀尾氏の在城時に高石垣や瓦葺建物などが整備されたとみられます。江戸時代には徳川^{ふだいだいみやう}譜代大名が居城し、改修が進められました。明治時代の^{はいじやう}廃城後、天守曲輪と本丸の一部は大きな開発を免れ、昭和25年(1950)に浜松城公園が開設されます。昭和33年(1958)には復興天守ができ、平成26年(2014)には天守門が復元されました。

引間城の頃には、東海道沿いの引間宿に市場のある町が栄えていたようです。徳川家康は入城後、家臣団を城下に配置し、商工業者を集住させ、浜松城下町の再編を行ったとされています。江戸時代、東海道は東から浜松城の^{かぎ}大手門まで一直線に向かい、一度、鍵の手に曲がって大手門の前に出て、そこから南に伸びていました。そこには「浜松宿」が配置され、東海道の中でも規模の大きな宿場として^{はんじやう}繁盛していたことが記録にのこされています。



- 浜松城公園本丸南広場(浜松市役所西側)
 - ・JR浜松駅から徒歩約18分
 - ・JR浜松駅北口から遠鉄バスで約6分、バス停「市役所南」下車徒歩1分
- 浜松市地域情報センター
 - ・JR浜松駅から徒歩10分
 - ・遠州鉄道「遠州病院駅」から徒歩2分
 - ・浜松城から徒歩19分